

とびしまあらさきかいがん 飛島荒崎海岸のトビシマカンゾウ



トビシマカンゾウを使ったスイーツ 港旅館

ほうさく しょうばいはんじょう ねが だいこくさま としや 豊作と商売繁盛を願う大黒様のお歳夜

紅葉がきれいだった秋があったという間に終わり、鳥海山も冬の雪化粧に変わりました。気がつけば、2025年も残りわずかとなっています。

今年は、各地で熊の出没が相次ぎ、外歩きも気をつけなければなりません。また、インフルエンザの流行もあり、ふだんから食事・運動・睡眠を整えることの大切さ、そしてうがい・手洗いをしっかり行い、健康を意識する必要性を改めて実感した1年でした。

庄内地方では12月に入ると、12月9日に「大黒様のお歳夜」という食にかかわる行事を行います。大黒様とは、打ち出の小槌

をもっている七福神の一人です。庄内地方では、豊作と商売繁盛を願って、この日に、大黒様の好きな豆を使った料理をお供えします。黒豆、まっか大根、納豆汁、はたはたの田楽などです。

～ズームイン！鳥海山・飛島ジオパーク～

酒田市の花「トビシマカンゾウ」は、飛島で見られる黄色い花で、6月ごろに見ごろを迎えます。今年も荒崎海岸では、トビシマカンゾウがたくさんの花を咲かせました。トビシマカンゾウの花は1日だけ咲いてしおれ、次の日はまた別のつぼみが咲いていきます。

飛島では昔から、この花を塩漬けにして保存食として食べていました。

酒田市ジオ給食通信 第8号（令和7年12月）
～鳥海山と飛島の恵みをいただく給食～

